

男のつらさ、女の我慢

——「男性学」を手がかりに、その壁を突破するための講演会——



田中 俊之 たなか としゆき

武蔵大学社会学部助教。男性学の視点から男性の生き方の見直しをすすめ、多様な生き方を可能にする社会を提案する。新聞・テレビをはじめとした各メディアでの出演多数。雑誌『AERA』にて「日本を突破する100人」に選出される。テレビドラマ『残念な夫』のプロデューサーとも対談を通じ、今後の男性の生き方について活発な意見交換をおこなう。今年5月には著書『男がづらいよ 絶望の時代の希望の男性学』(KADOKAWA)を上梓し、大きな話題となっている。Twitterでも情報発信中(<https://twitter.com/danseigaku>)

今春、テレビで放映されたドラマ『残念な夫』は、現代の夫婦間の問題をコミカルに描いた作品として大きな話題となりました。

日々、きびしい仕事にたずさわる夫は家事や育児との両立に悩み、その一方で妻は夫のかかわりを不十分と感じ、みずからの我慢をさらに重ねてゆく……。このような二重のたいへんさは、実際に多くの家庭で見られるのではないのでしょうか？

おたがいに精いっぱいがんばっているつもりなのになぜかふたりの間の壁が厚くなってゆく。こんな「残念な」状態を打開するには、まずは心を落ち着けて、パートナーが置かれている状況を理解しあうことが不可欠です。

この講演は、おもに主婦のみなさんに向けて、現代の男性が抱えている悩みや問題をわかりやすく解説するものです。いま、各メディアで注目されている「男性学」の旗手としてご活躍中の田中俊之先生をお招きし、男性がなかなか口に出すことができない「つらさ」の原因と、それをやわらげて新しい夫婦関係を築くためのヒントを語っていただきます。主婦の方々だけでなく、男女のよりよい関係について考えるすべての方々にご参加いただければ幸いです。

講演内容(予定) 男性はなぜ問題を抱えてしまうのか／弱音が吐けない男性たち／なくなった「普通の人生」／問題として直視されない長時間労働／ワークライフバランス再考／イクメンが抱える過剰な期待／なぜ男性は女性に謝れないか／新しい家族像を作る

8月20日(木) 午後1:30~3:00 (開場 1:00)
高井戸地域区民センター 第1・第2集会室 (京王井の頭線・高井戸駅より徒歩1分)
参加費 1,000円 (当日、講演会受付にて現金でお支払いください)

●メールで申込み

kisakico@sea.plala.or.jpあてに「講演会希望」とタイトルしあなたのお名前(ふりがなを必ずつけてください)と電話番号を明記してください。参加者が複数場合は、全員のお名前とふりがなをお願いいたします。電話番号は代表者1名のみでけっこうです。折り返し受付完了メールをお送りします。

●FAXで申込み

03-3333-9328あてに上記と同じ内容をお送りください。その際、代表者のFAX番号も明記してください。折り返し受付完了のFAXをお送りします。

この講演会はお子さま連れ可能です。当日は指定スペースにお座りいただくことをご了承ください。また講演に支障がある場合は、一時退席をお願いすることがあります。小学生以下のお子さまは入場無料です。中学生以上は大人と同じ1,000円の参加費をちょうだいいたします。

主催 STUDIO TWO MOON

(女性のための健康体操スタジオ。高井戸西にて活動中。講演についてのお問合わせは080-1180-9802講演担当までどうぞ)
ブログ<http://blog.livedoor.jp/onagotaiso/>